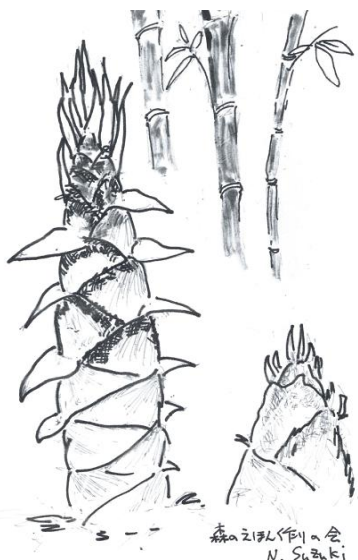




ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 鈴木

●3月理事会報告●

事務局からのお知らせ

日時：2022年3月20日（日） 11：35～11：55

出席者：青木、秋元、今村、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、星隈、山口、
掛下R、尾崎R（欠席：漆原、村松）（COVID-19感染拡大防止のため原則オンライン参加）

- 1 定期総会準備
 - ・オンライン開催、議案書、進行・分担・準備日程について確認しました。
 - ・事務局・理事の役割分担について、郵便物確認・転送担当の藤原さん後任は高橋（む）さん、定例会書記は関根さん継続（会場開催時は渡部さん）、副会長落合さん継続（定例会司会の後任は青木さん）となりました。（藤原さん、長年にわたりご担当ありがとうございました。）
- 2 安全管理
 - ・事故・危険情報等なし。
- 3 その他
 - ・（次年度センター事業については定例会で確認）

<次回理事会>

日時 5月15日（日）11：00～（定例会終了次第、早めに開始）

場所 自然観察センター研修室（オンライン併用）

議題 分担確認、安全管理、その他

以上

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●3月定例会報告●

日時：2022年3月20日（日）9：15～11：35 オンライン併用

出席者：青木、秋元、今村、大浦、大西、落合、志釜、関根（書記）、高橋、中里、中塚、西山、藤田、星隈、山口、渡部、観察センター掛下R、尾崎R

議題：1 友の会の2月から3月までの行事・活動報告をしました。

PJ行事では、「オンラインで季節の森を歩こう」（ハンミョウの会）が実施され、他は、まん延防止措置のため中止となりました。

2 6月までの友の会行事・活動予定を確認しました。

実施予定の行事

「森を守るボランティア体験」観察センター共催 4/17 カワセミファンクラブ担当

「オンラインで季節の森を歩こう」「みんなでバードウォッチング」「森の作業体験」

「定点カメラで動物調査」が予定されていますが、ブログ等で確認の上ご参加ください。

予定している行事も感染状況により、中止になることもあります。

3 センターより センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉 5月15日（日）9：15～を予定しています。（オンライン併用の予定） 以上

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

●第34回定期総会報告●

日時：2022年4月3日（日）（→「COVID-19」感染拡大防止のためオンライン開催）

議案：2021年度事業報告、決算・監査報告、2022年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会がオンライン（Zoom）で開催され、会員17名が参加、議長に渡部克哉さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。

〈2021年度報告〉（人数は参加延べ人数。 ※…センター行事一般は不算入）

友の会行事 25 項目・111 回（会員 501 人、一般 271 人）

センター行事支援 7 項目・46 回（会員 60 人）※

ネットワーク活動 4 項目・0 回（0 人）

会議等 5 項目・19 回（191 人）

行事報告 合計 41 項目・176 回（会員 752 人、一般 271 人）

【参考】前々年度（2019） 42 項目・219 回（会員 966人、一般 996 人※）

※前々年度比 ▲43回(▲20%) ▲214人(▲22%) ▲725人(▲73%)

PJ活動 36 項目・384 回（2,420人）

事務局内調査等活動 3 項目・10 回（33 人）

事務局事務 4 項目・42 回（92 人）

PJ活動報告 合計 43 項目・436 回（2,545 人）

【参考】前々年度（2019） 43 項目・534 回（2,634 人）

※前々年度比 ▲98回(▲18%) ▲89人(▲3%)

※行事回数・会員参加数は2019年度の8割程度まで回復しましたが、一般参加者数の回復の遅れ（3割）が顕著です。厳しい中、PJ活動も回数で8割、人数でほぼ同数に回復しました。

〈2022年度計画〉

行事計画 42 項目・240 回 ※（内、友の会行事(主催・共催) 155回)

PJ活動計画 44 項目・463 回

〈理事・監事選任〉（役員・担当理事互選も同時に確認）

PJ 枠：秋元（ネットワーク）・大浦（副会長）・落合（副会長）・中里（事務局長）・西山・星隈・村松

（次ページに続く）

●第34回定期総会報告●

(前ページからの続き)

事務局 梓：青木（会計・定例会司会）・漆原（会員名簿管理）・関根（書記統括、ホームページ）・
中塚（安全管理）・大西（会員交流行事） 会員公募 梓：山口（会長）・今村（編集、広報）
監事：大越・水上

■長期目標と中期計画

◆長期目標(2020~29)

「未来へつなぎ、みんながつながる、生き物のにぎわいのある森」

◆中期事業計画(2020~22)

- ① 生物多様性を育む豊かな自然環境を次の世代へつなぎます。
- ② 多くの人々を豊かな自然環境につなぎます。

コロナ禍で厳しい状況ですが回復傾向です。長期目標及び中期計画の実現に向け、着実に進められるよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。 (会長 山口)

森のこぼれ話

ふむふむ

軍手・プラ手袋・皮手袋

森ではおなじみ、草取りにも、ごみ拾いにも何かと便利な軍手。
畑の作業でも必需品、ありがたい存在だ。
もちろん洗って何度でも使える物だが、ある時洗うのが苦になった。
ライムギなどの穂のチクチクが刺さって取れないのだ。
思いついて、軍手の上からプラスチック製手袋をかぶせて使うことにした。
うん、快適だ。チクチクが刺さらないぞ。
軍手の洗濯はとても楽ちんになった。シンプルに個人的なよろこび。
でもプラ手袋は知らないうちに穴が開いて毎回捨てることになる。
医療介護の現場に関わっているから、プラ手袋も身近な存在だ。
1回使ったらすぐ捨てるのは衛生上当然のことで抵抗がなくなっている。
いや、でも、やはり、森の作業でこんなゴミを出してしまうのは如何なものか。
反省はするものの、チクチクと戦うのはイヤだ。。。
と、去年あたりから、新たなアイテムが登場した。
畑プロジェクトで一人づつに皮手袋が与えられたのだ。
こんな便利なものがあつたんだ、ふふふ、皮手袋。快適だ。
防寒にもなるし、チクチクもモノともせず安全、安心。
穴も開かず土も入り込まない。水分も少しなら浸みてこない平気。
厚くて洗うのが少し大変だけど。ちゃんと洗っているよ。
ところで、この皮手袋の皮は何だろう？
だれか・・・動物さん。ありがとう。
さらにとこころで、手袋は何て数えるのか？
ワンペアで数えるので、1双（いっそう）2双（にそう）だって。
でも軍手は左右がないので、1組、2組でもよいらしい。
そして、1打って書いて1ダースと読み=12双じゃなくて12枚らしい。
発注するとき、なにやら難しいだろうな。しないけど。



イラスト：Mu

Mu

●自転車安全利用について●

自転車を利用する方へ

活動で森へ向かう途中に自転車で転倒してけがをされたケースがあります。

この機会に、自転車の安全について見直してみましょう。

＜自転車安全利用五則＞（内閣府：平成19年7月10日 中央交通安全対策会議交通対策本部決定）

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外 ※1
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 ※2
4. 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用 ※3

※1：自転車通行可の標識のある所や13歳未満、70歳以上の方、路上駐車・工事など車道が危険な場合は、例外として歩道を走行することができます。ただし、この場合も、歩道の車道寄りを徐行し、歩行者の通行の支障となる場合は一時停止しなければなりません。

※2：歩道走行は、脇道や駐車場から出てくる車や、大きな交差点で右左折車のドライバーから見ると突然現れる形となり衝突事故の危険性が非常に大きくなります。歩行者だけでなく、自転車利用者自身を守るためにも、できるだけ車道左側を通行しましょう。

特に逆走は大変危険なため絶対にやめましょう。

※3：13歳未満のヘルメット着用は義務付けられています。また、県条例で70歳以上の高齢者と同居する親族は、乗車用ヘルメットの着用を勧める等、高齢者の自転車の安全で適正な利用について配慮するよう努めなければならないとされています。

子どもや高齢者に限らず、ヘルメットを着用するようにしましょう。

＜賠償責任保険＞

県条例で、自転車賠償責任保険への加入が義務付けられています。小学5年生が加害者となった事故で9千万円の支払いが命じられた事例もあります。自動車や火災など各種の保険で1億円程度の自転車賠償責任補償が付随している場合もありますが、今一度、補償内容を確認しましょう。

自転車には自動車のような車検・自賠責保険の制度がありません。これに代わるものとして、「TSマーク」保険があります。

自転車店で点検整備をすると「TSマーク」というシールが貼られ、1年間有効の保険が付いてきます。赤色のTSマークであれば1億円の賠償責任補償、100万円の傷害補償、10万円の被害者見舞金が付いて2千円です。年に1度、点検整備を受け、安全・安心な自転車に乗りましょう。

（ボランティア保険の対象となる場合もありますが、まずは安全対策を優先しましょう。）

＜注意ポイント＞

最も多いのが交差点で一時停止せずに事故になるケースです。標識や路面標示を守りましょう。この場合も、逆走していると交差車両からの発見が遅れて危険です。細い道でも必ず左側を通行しましょう。

横断歩道を渡るとき、歩行者が居る場合には必ず降りて押し歩きをしましょう。信号のない横断歩道を渡るときは、押し歩きの姿勢で、手を上げるなどして、歩行者として渡る明確な意思表示をしなければ、自動車のドライバーは一時停止する義務がありません。フレームにまたがったり、ペダルに足をかけた状態では車両と見なされ、歩行者とされない場合があります。

横断歩道で一時停止するドライバーは多い県で7割、神奈川では2割しかいません。歩行者として渡る明確な意思表示をしましょう。（昨年策定された「神奈川歩行者五則」もチェックしましょう。）

以上
山口

●森を守るボランティア体験(オンライン開催)●

実施日： 2月20日(日)

参加者： 2名、 スタッフ4名 + 荒レンジャー

オンラインの実施となりましたが、画面を通し、野鳥や昆虫などこの森の魅力もPRできました。

参加者の1名は遠く長野からの参加でした。

カワセミファンクラブ 大浦

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験(間伐体験)●

日時 5月28日(土) 10:00 ~ 12:00

森の不要木を伐採します。大鋸を使った間伐作業を体験出来ます。・薪割り体験やコースター作りなど各種楽しいイベント付きです。

集合：10時までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：小学生以上5名 先着順(中学生以下、保護者同伴)

申込期間：4月21日 ~ 5月24日

Fax (045-894-8892) (観察の森) または、Eメール (entry@ynstomo.org)

担当：雑木林ファンクラブ

●森を守るボランティア体験(間伐体験)●

日時 2021年6月19日(日) 9:30 ~ 12:00

定員：5名(申込多数の場合は抽選)

申し込み：メール yokohama-nc@wbsj.org または、 Fax 045-894-8892

担当：雑木林ファンクラブ

●友の会プロジェクト紹介(雑木林ファンクラブ)●

僕達は、横浜という人口密集地に在りながら、豊かな自然と森があるこの環境を大切にすることに市民の皆様に関心をもって貰うため、少しでも自然と共生する生活を実体験できる場を常に提供し続けたい、と思っています。

そのために、自然の恵みを利活用することも含め、楽しくボランティア活動をしなが、雑木林を維持していくことを心がけています。

主な活動は、木の伐採、草刈、間伐材を利用したキノコ作り・木工品の作成、炭焼き、横浜市スプリングフェアへの参加など、森に関わる様々な活動を実施しています。



現在の会員には、木工に詳しい方など、それぞれの分野に詳しい方々が勢ぞろいし、年間計画に沿って楽しく活動しています。週に二回(水曜日、土曜日)10~15時に活動しています。ぜひ観に来てください。中学生以上の若い方も大歓迎です。森の中で気持ちの良い汗をかきましょう。活動内容はブログ「森のでできごと」も参照ください。

最近では、作業の機械化も進めています。ピクニック広場の展望場作りもその成果です。もちろん、安全講習なども定期的に受講したり、会の中でも勉強会をして、安全にかつ健康的に作業するようにしています。

雑木林ファンクラブ ほしくま



自然観察センターだより



2022年 4月号

2022年度のレンジャーです。よろしくお願いします



チーフ・全体統括・環境調査主担当
掛下 尚一郎

ともすれば停滞してしまいそうなどともどかしい時期を皆さんのお力添えで乗り越えることができました。心よりお礼申し上げます。木々の生長は止まりません。私たちも森と共に成長できるようがんばります。



ウェルカムセンター事業・環境教育主担当
尾崎 理恵

今の観察の森にとって何が最優先事項なのか？そのために何をすべきか、をに考え続けてまいります。ご助言おねがいたします。



環境管理種担当・環境教育・環境調査
中沢 一将

今年度から4年目、そして環境管理主担当となります。生きものに、人に寄りそった管理ができるよう日々心掛けてまいります。引き続き皆さんのお力添えいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



環境教育・環境調査
松本 麻依

この森に来て初めての春の芽吹きに、今年はどうな生きものと出会えるのか…どきどき・わくわく心が躍っています。森や生きものをもっと知り、魅力を伝えられるよう2年目頑張ります！



環境教育・環境調査補佐
金井 菜摘

毎日新しい発見の連続です。「もしかしたらもう知っているかも」と思わず、どしどし自然情報をお寄せください！皆さんの情報をたのしみにしております。



環境管理・環境教育補佐
有馬 雄治

まだまだ感染対策で気の抜けない毎日ですが、新年度ということで気持ちを新たに仕事に励み、色々なことに挑戦していきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



はじめまして！

北村 匠

今年の3月に専門学校を卒業し、4月から働くことになりました。社会人一年目でいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、レンジャーとして精いっぱい頑張っていこうと思いますので皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



岡 みつる

カウンターでお迎えます！



お世話になりました！

荒 哲平

4月から財団事務局（普及室）に勤務することになりました。1年という短い期間でしたが、大変お世話になりました。コロナ禍のため、本来のにぎわいのある友の会の活動を拝見できなかったのが心残りです。また森でお会いできたら嬉しいです。ありがとうございました。



大久保 香苗
育休中

にがおえ：金井菜摘

プロジェクト担当

畑プロジェクト（金井）
PJ-STRIX（掛下）
野草の調査と保護（中沢）
森の絵本づくりの会（尾崎）
定点カメラで動物調査（掛下）

ハンミョウの会（尾崎）
自然と遊ぼう（尾崎）
鳥のくらし発見隊（松本）
雑木林ファンクラブ（中沢・掛下）
カワセミファンクラブ（松本）

事務局（掛下・尾崎）
植生図（掛下・中沢）
モニ1000（掛下）
カエル調査隊（掛下）
ゴロ報（金井）

【おしらせ】 保安全管理フォローアップの会

日時：5/14（土）13～15時 保安全管理意見交換会

場所：自然観察センター 研修室 ★感染状況により、開催内容、方法が変わることもあります。

3月に計画していた保安全管理懇談会で意見交換をする予定でした各プロジェクトからの今年度以降の保安全管理活動計画の提案と意見交換をおこないます。また、今年度の保安全管理フォローアップの会の計画や今後の保安全管理計画についても意見交換ができればと考えています。

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下（kakesita@wbsj.org）か

中沢（nakazawa-k@wbsj.org）までご連絡ください。

【報告】アライグマ(特定外来生物)の捕獲ワナ巡回結果報告

今期のアライグマの捕獲は11月30日から3月11日の期間でおこないました。結果はアライグマ9匹、タイワンリス25匹、ハクビシン2匹を捕獲することができました。過去の実績をグラフにしてみました。アライグマの捕獲数はほぼ横ばいなのに対して、タイワンリスは年による変動が大きいことが分かります。

これは冬期におけるエサ資源との関係があるのではないかと推測しています。また、2月のゴロ報でも報告しましたが、はじめてハクビシンが捕獲されました。しかも、2匹です。これもエサ資源との関係もあるかもしれません。3月に入ってからは、イタチが2回錯誤捕獲されました。写真で判別したところそれぞれ別個体だったことが分かりました。今期はヘイケボタルの湿地でヤマアカガエルを捕食しているところをレンジャーや会員が度々目撃しているため、アライグマの捕獲が他の哺乳動物にも好影響を与えているかもしれないと、期待してしまいます。

巡回やワナの設置には、友の会有志のべ48名の方にもご協力いただきました。ありがとうございました。

【募集】 イベントサポーター！ 森の魅力一緒に伝えましょう、各回2名以上のサポーター募集中です。

●春の森 おさんぽラリー

日時：5/3（火・祝）～5/7（土）10:00～15:00

スタートとゴールの受付やポイントでの解説、参加者の案内などをお願いします。

◎集合：9時半 自然観察センター研修室 ◎解散：16時過ぎ ※部分参加OK

●ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場

日時：6/4（土）、6/11（土）、6/18（土）6/28（土）19:00～20:00（雨天の場合は翌日）

ホテルの観察マナー普及のための紙芝居の上演、上演補助や、来園者誘導などをお願いします。

◎集合：17時半 自然観察センター研修室 ◎解散：20時過ぎ

<いずれも、レンジャー尾崎までご連絡ください！E-mail：ozaki.r@wbsj.org >



ボランティアさん
ありがとう

2月1日

～3月31日

2/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

2/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

2/1～ 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪・園内利用情報のご提供

2/9 大越節子さん・大西誠治さん・星隈豊さん 消防訓練参加

石川裕一さん・今村修さん・大浦晴壽さん・岡田昇さん

落合道夫さん・岸本道明さん・中里幹久さん・水上重人さん

特定外来生物アライグマ防除へのご協力

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

指定管理者：



行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●森の作業体験(間伐体験)

日時：5/28(土) 10:00～12:00
定員：小学生以上5名(中学生以下は保護者同伴)
(申込多数の場合は先着順)
申込：Fax 045-894-8892(観察の森)
または、メールで entry@ynstomo.org
担当：雑木林ファンクラブ

●森を守るボランティア体験

日時：6/19(日) 9:30～12:00
定員：5名(申込多数の場合は抽選)
申込：メール yokohama-nc@wbsj.org
または、Fax 045-894-8892(観察の森)
担当：雑木林ファンクラブ

●自然観察センター主催行事●

■春の森 おさんぽラリー

森のみどころを探して歩こう!

開催日：5/3(火・祝)～5/7(土)
受付時間：10:00～15:00(所要時間60分)
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
参加方法：観察センターでシートを入手し各自散策。無料

■ホテル ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

開催日：6/4(土)、6/11(土)、6/18(土)、
6/25(土)

時間：19:00～20:00
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
申込：不要 無料
※開催・中止をお電話にてご確認ください。天候の
ほか感染症対策により中止することがあります。

★ 注意 ★

新型コロナウイルス感染症対策の状況によっては、各
行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の
変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yms_tomo/)
で随時情報を更新していきますので、そちら
でご確認をお願いいたします。

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会です～
5/1(日)・6/5(日)
11:00～1時間程度(ZOOM 接続 10:30～)
定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)
申込：メールで entry@ynstomo.org
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
事前申込制で活動再開しました!
5/8(日)・6/12(日)
9:30～12:00(雨天中止)
定員：15名(事前申込、応募多数の場合抽選)
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)
申込：メールで entry@ynstomo.org
申込内容等、詳細はブログ「森のでできごと」参照
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●友の会 定例行事●(友の会会員向け)

●定点カメラで動物調査

5/14(土)・6/11(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。
センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け(最大6名まで)
持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参
集合：ゴロスケ館 5月～11月の第2土曜日

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
2022年度上期は参加者募集中止です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
2022年度の行事活動は未定です。

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～
2022年度は行事活動は中止です。

発行日 2022年4月24日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: jimukyoku@ynstomo.org